

基本施策評価シート

基本施策最終評価

B

基本施策通し番号 20
 基本施策 公共交通手段の確保
 構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	バス運行の充実	C
施策2	JR越美北線の利用促進	B

成果指標

指標	内容	令和2年度 目標	令和元年度末 実績	単位	令和元年度の成果の検証
大野市内バス乗客数	大野市内バスの年間乗客数	36,000	24,674	人	H30年と比較し、3,150人の減となり、まちなか循環バス、乗合タクシーは大きく減少した。まちなか循環バスは、北ルートへの減少が大きく、朝の高校生の通学利用が減少した要因が大きい。乗合タクシーは森目・阪谷線、小山・木本堀兼線で大きく減少している。また、新型コロナウイルス感染症の影響による3月の朝の高校生の通学利用の減少も影響している。
広域路線バス乗客数	広域路線バスの年間乗客数	285,000	205,329	人	広域路線バスは、H30.10～R1.9の集計である。H30と比較し、38,266人の減となった。H30.10から大野・福井間を結ぶ京福バス大野線が17便から11便に減便になったことや市外への交通手段にバスなどを利用する機会が減ったことが反映しているものと考えられる。
越美北線の乗客数	越美北線の年間乗客数	347,000	336,307	人	全体の乗客数は、昨年度と比較し4,178人の減となったが、大野市内の駅では3,097人の増となっている。福井市の高校へ通う学生の増加という外部要因も考えられるが、利用促進策の効果が一定程度表れている。

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現状	・高齢者や学生などの移動制約者の日常生活や観光客の移動手段として、公共交通は必要不可欠であり、現在「越前おおの地域公共交通総合連携計画」に基づき、広域バスの運行支援やJR越美北線の利用促進、市営バスやまちなか循環バス、乗合タクシーを運行している。
課題	・市民ニーズに応じて効率的に運行し、市民の豊かな暮らしを支える持続可能な公共交通を実現する。 ・JR越美北線の重要性、機能性、役割について「乗って残す」市民の意識の醸成、北陸新幹線の敦賀延伸が進められる中、鉄道をテーマとした魅力ある観光事業の展開を図る。

社会情勢・市民ニーズの変化

・少子化の進行に伴い、通学生徒の越美北線定期利用者や市内路線バスの通学利用者が減少している。運転免許自主返納者も着実に増加してきており、地域で暮らし続けるために公共交通機関の確保は必要である。
 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、3月の利用実績が減少している。

現在の「現状」と「課題」

現状	・民間では採算が合わず維持することが難しい現状である公共交通に行政が関与し、高齢者や学生などの移動制約者を中心とした日常生活の移動手段を確保している。 ・JR越美北線についても、観光利用券「食べ歩き見て歩きマップ」の活用、沿線イベント等買い物補助事業等で利用促進施策に取り組んでいる。 ・人口密度の高いエリアでまちなか循環バスを利用しやすくするため、運行ルートを変更し5つの停留所を新設したほか、既存ルート上に2つの停留所を新設した。 ・市営バス和泉3線中竜線について、バスを利用する児童の降車後の安全性を確保するためルート変更を行った。
課題	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、従来型の利用促進が難しくなっている。 ・観光利用券「食べ歩き見て歩きマップ」が令和元年度をもって廃止されたため、沿線イベント等買い物補助事業により、さらなる利用促進を図る必要がある。 ・車を運転することができない高齢者（運転免許自主返納者を含む）に対応した、持続可能な公共交通を実現する必要がある。 (参考)運転免許自主返納認定者数【累計】 H24:34人、H25:61人、H26:87人、H27:149人、H28:215人、H29:296人、H30:378人、R1:486人

基本施策の「成果」

成果	・大野市内バス等の全体の乗客数は昨年度と比べ減少(3,150人の減)であり、市内バス等のうちまちなか循環バス、乗合タクシー森目・阪谷線、小山・木本堀兼線の減少数が大きい。高齢者や学生などの移動制約者の日常生活の移動手段を維持することができた。 ・JR越美北線について、大野市内の駅の乗車人数は昨年度に続き増加している。福井市の高校へ通う学生の増加という外部要因も考えられるが、利用促進策の効果が一定程度表れている。
----	--

改善点

・市民が地域公共交通の重要性を認識し、乗って残す意識の醸成のため、今後も公共交通の周知を行う。
 ・公共交通の観光利用を促進するため、車内広告や駅構内への広告掲示、チラシ設置により沿線イベントのPRを行う。
 ・最寄駅が分からない、時刻表の見方が分からない等の苦情を解消し利用者拡大を図るため、利用者本人が利用する停留所及びダイヤのみを記載した「マイ時刻表」作成サービスのPRを効果的に行う。